

公益財団法人 中辻創智社
第9期（2023年度）事業報告書
（2023年4月1日—2024年3月31日）

I. 概要

当法人は2015年の設立以来、学術と科学技術の健全な発展を願い、社会と次世代を担う若者を支援することを目的に、研究奨励部門として「研究費助成公募」「会議開催費助成公募」、人材育成部門として「理系出身者への法科大学院奨学金」「困難な状況にある子ども達への学習支援」の4事業を実施してきた。これらの事業では、自然環境保全を担う基礎生物学のうち研究継続が困難な状況にある研究課題に対する研究費助成、文系及び理系学術分野の勉強会やシンポジウム等に対する会議開催費の助成、理系分野の学問的背景を有する法科大学院生への給付型奨学金、子ども食堂や子どもの居場所に学習支援機能を付与するための助成を展開している。上記事業の財源は、基本財産及び特定資産の運用益を用いている。

2023年度は、

- (1) 公益財団法人移行後の法人運営体制の強化と安定を図る。
 - (2) 現在実施している助成公募事業を継続し発展させる。
- の2つの基本方針に基づき法人を運営し、助成事業を実施した。

当法人は主たる事務所を京都市中京区麩屋町通夷川上る笹屋町459番地に定め、定款に従い以下の役員等で構成される。

役職	氏名	常勤・非常勤の別	職務・現職
代表理事	中辻憲夫	非常勤	京都大学名誉教授（理学博士）
業務執行理事	細川美穂子	常勤	職務統括（事務局長兼務）（医学博士）
理事	長谷川博	非常勤	研究奨励選考委員会委員長・東邦大学名誉教授
理事	藤本一郎	非常勤	人材育成選考委員会委員長・弁護士法人創知法律事務所代表弁護士
監事	新居誠一郎	非常勤	新居合同税理士事務所所長・税理士

評議員	饗庭一博	非常勤	エリクサジェン・サイエンティフィック・ジャパン株式会社 iPS 細胞事業部部長（理学博士）
評議員	門田真	非常勤	信州大学バイオメディカル研究所・医学部再生医科学教室講師（医師・医学博士）
評議員	加納圭	非常勤	滋賀大学教育学部教授（生命科学博士）
評議員	迫田さやか	非常勤	同志社大学経済学部准教授（経済学博士）
評議員	中馬新一郎	非常勤	京都大学医生物学研究所准教授（獣医師・理学博士）
評議員	中辻孝子	非常勤	元東海大学教授（医学博士）
評議員	仲屋麻希子	非常勤	フリーライター、同志社女子大学非常勤講師
評議員	西川輝昭	非常勤	名古屋大学名誉教授（理学博士）

職員は常勤1名（兼務職員）、非常勤1名（週1日）の計2名で業務にあたった。

II. 事業の状況（公益目的事業1）

1. 事業計画の実施状況

(1) 研究奨励部門

A. 研究費助成公募（定款第4条に定める事業(1)）

自然環境保全を担う生物学領域の中心分野について、研究継続が困難な状況にある研究課題を対象とした研究費助成公募を下記の通り実施した。

【公募期間】

2023年4月7日～6月10日

【公募方法】

当財団ウェブページ掲載、ポータルサイト登録（JSTサイエンスポータル、助成財団センター助成情報ナビ）、全国の国立大学及び主要博物館並びに主要対象分野の学会（日本動物学会、日本植物学会、日本生態学会、日本分類学会連合）への周知依頼により公募を行った。

【募集件数】

100万円助成課題10件、50万円助成課題4件（予算額1200万円）

【申請件数】

100万円助成課題40件、50万円助成課題1件、合計41件

【選考方法】

研究費助成公募選考要項に従い研究奨励選考委員による採点の上、合議制の選考会を2023年7月19日に開催し採択課題を決定した。

【選考結果】

100万円助成課題14件（うち2件は次点の減額採択）、50万円助成課題0件、合計14件

【助成総額】

13,629,086円（うち232,086円は2022年度採択者への繰越金助成分）

研究費助成公募の採択課題は下記の通りである。

100万円助成課題（14件）

氏名	所属	職位	研究課題名	摘要
菅原巧太郎	琵琶湖博物館	学芸技師	希少淡水魚ヨドゼゼラの系統保存手法確立に向けた脂肪酸分析による餌資源の解明	
佐藤幸恵	筑波大学生命環境系/山岳科学センター	助教	近縁種との接触が生殖的隔離の進化に与える影響 -半倍数体ハダニの種分化機構-	
岡慎一郎	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター	室長兼首席研究員	環境DNAによる沖縄島の沿岸魚類相の網羅的把握	
中村玄	東京海洋大学海洋環境科学部門	助教	東京湾の富津周辺海域における希少鯨類”スナメリ”の生息実態モニタリング	
中江雅典	国立科学博物館動物研究部脊椎動物研究グループ	研究主幹	生息域外保全で継代飼育されている魚類の側線系は退化しているのか？	申請金額99.7万円
池田悠吾	京都大学総合博物館	研究員	ラオス山岳地域のコウモリ類の超音波音声ライブラリ開発	
水田拓	公益財団法人山階鳥類研究所	自然誌・保全研究ディレクター	アマミヤマシギの食性解析に基づく生息環境の包括的理解と保全策への活用	
柴田あかり	北海道大学地球環境科学研究院	特別助教	植物の性転換におけるエピジェネティック制御の役割	
野田武志	沖縄科学技術大学院大学マリンゲノミクスユニット	研究員	キセルガイが右巻きに進化する遺伝的背景の探求	
磯谷綾子	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科バイオサイエンス領域	准教授	異種間キメラ動物を用いた異種胚代理母モデルの構築	
大塚海	東京理科大学創域理工学部	研究員	レトロウイルスに由来する”動く遺伝子”が哺乳類の精子を形作る機構の解明	
Nikko Adhitama	大阪大学工学研究科	助教	ミジンコにおける内分泌機能を有する器官の同定	
佐鹿万里子	北海道大学大学院獣医学研究院	助教	外来種問題の解決に向けて -外来種アライグマの繁殖特性の解明-	次点につき減額採択 (70万円)
松尾亮太	福岡女子大学国際文理学部	教授	ナメクジにおける光情報処理様式の解明	次点につき減額採択 (70万円)

研究費助成公募状況の推移は次の通りである。

	2018年度 第1期	2019年度 第2期	2020年度 第3期	2021年度 第4期	2022年度 第5期	2023年度 第6期
申請総数	40	30	30	36	32	41
採択総数	10	11	11	11	13	14
採択率	25.00%	36.70%	36.70%	30.56%	40.62%	34.15%
助成総額	700万円	800万円	950万円	885万円	1090.2万円	1362.9万円

2023年度はこれまでの採択課題から1件の論文発表があった。

氏名	所属	採択年度	発表論文
脇司	東邦大学	2021年度	"A description of a new species of the genus <i>Brachydistomum</i> (Trematode, Dicrocoeliidae) from the Eurasian Tree Sparrow <i>Passer montanus</i> (Linnaeus) (Passeriformes) in Japan, with a report on the first intermediate host" <i>Syst Parasitol.</i> 2024 Feb 19;101(2):22.

B. 会議開催費助成公募事業（定款第4条に定める事業(3)）

文系・理系を問わず、学術・科学技術の振興を目的とした会議開催費助成公募を下記の通り実施した。

【公募期間】

開催まで1年未満の会議について申請を通年で随時受付

【公募方法】

当財団ウェブページ掲載、ポータルサイト登録（JSTサイエンスポータル及び助成財団センター助成情報ナビ）により公募を行った。

【募集件数】

年間10件程度（予算額500万円）

【申請件数】

111件

【選考方法】

申請受理日に応じて年3回の審査を行った。会議開催費助成公募選考要項に従い研究奨励選考委員による採点の上、選考委員による合議制の審査会（いずれもメール会議）において採択課題を決定した。

【採択件数】

29件

【助成総額】

798万円

採択会議は下記の通りである。

採択会議名	主催団体	採択金額
生命情報科学若手の会 第15回年会	生命情報科学若手の会	40万円
第62回分子科学若手の会 夏の学校	分子科学若手の会	40万円

第 63 回生物物理若手の会 夏の学校	生物物理若手の会	30 万円
第 3 回数理生物学 夏の学校	数理生物学若手の会 実行委員会	30 万円
第 16 回環境教育講演会 未来をつくる環境&化学教育	日本化学会 環境・安全推進委員会 環境小委員会	12 万円
第 8 回ユニーク会（ユニークな少数派実験動物を扱う若手が最先端アプローチを勉強する会）	ユニークな少数派実験動物を扱う若手が最先端アプローチを勉強する会	18 万円
流体若手 夏の学校 2023	流体若手夏の学校 実行委員会	24 万円
日本養護実践学会 第 6 回学術集会	日本養護実践学会	14 万円
第 63 回生命科学 夏の学校	生化学若い研究者の会	30 万円
The 14th International Indology Graduate Research Symposium	第 14 回国際インド学大学院生研究シンポジウム 運営委員会	30 万円
第 7 回幹細胞・細胞分化に関する合同リトリート	幹細胞・細胞分化に関する研究会・実行委員会	25 万円
菌根共生からみた進化群衆生態学	門脇浩明	25 万円
生物リズム若手研究者の集い 2023	時間生物若手の会	40 万円
光合成若手の会セミナー「葉緑体新生の分子メカニズム」	日本光合成学会若手の会	40 万円
2023 年度勇魚会シンポジウム 「海棲哺乳類の文化人類学」	勇魚会	30 万円
第 2 回神経化学会 若手 KYOUEIN	日本神経化学会	30 万円

「集え、多分野研究者！」 感染症キャンプ in 宮崎	多分野感染症研究会	30 万円
第 33 回神経行動薬理若手研究者の集い「神経行動薬理の最前線」	神経行動薬理 若手研究者の集い	25 万円
第 12 回 ITAM ワークショップ	ITAM ワークショップ	15 万円
Submarine caldera volcanoes - The cutting edge of our understanding achieved by various approaches -	神戸大学 海洋底探査センター	25 万円
生物工学若手研究者の集い 夏のセミナー2024	生物工学若手研究者の集い	40 万円
第 56 回若手ペプチド 夏の勉強会	日本ペプチド学会	24 万円
第 55 回構造有機化学 若手の会 夏の学校	構造有機化学若手の会	40 万円
フリーラジカルスクール 2024	日本酸化ストレス学会 若手の会	16 万円
第 69 回物性若手夏の学校	第 69 回物性若手 夏の学校準備局	25 万円
The Foundations of Arabic Linguistics 第 7 回会議	The Foundations of Arabic Linguistics	25 万円
アジア生物学教育協議会 第 29 回隔年会議	アジア生物学教育協議 会・日本生物教育学会	25 万円
第 77 回国際古代法史学会 (SIHDA)直前若手ワークショ ップ	SIHDA 大阪委員会	25 万円
第 17 回国際寄生植物学会	第 17 回国際寄生植物学 会大会準備委員会	25 万円

会議開催費助成公募状況の推移は次の通りで、2023年5月の新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う対面会議の復活、公益財団法人移行の影響等による申請数の大幅な増加が見られた。

	2019年度 第5期	2020年度 第6期	2021年度 第7期	2022年度 第8期	2023年度 第9期
申請総数	46件	34件	42件	58件	111件
採択総数	17件	12件	13件	18件	29件
採択率	36.95%	35.29%	30.95%	31.03%	26.13%
助成総額	385万7200円	346万9000円	320万円	519万8000円	798万円

申請件数の倍増を受け、予算額を当初の500万円から800万円に増やして対応した。申請件数自体は増えている一方で、支援の必要性が高くない会議からの応募もあり、事業趣旨への理解の浸透が課題となった。

(2) 人材育成部門

A. 理系出身者への法科大学院奨学金（定款第4条に定める事業(2)）

多様な学問的背景を持つ法曹の層の厚みは成熟した社会を支える上で重要であり、理系分野の専門知識・技術を持つ法科大学院生へ月額3万円を給付する奨学金事業を下記の通り実施した。

【募集期間】

2023年4月1日～5月12日

【募集方法】

当財団ウェブページ掲載、ポータルサイト登録（日本学生支援機構、奨学金.net、ガクシー、助成財団センター助成情報ナビ）、全国の法科大学院への周知依頼により募集を行った。

【募集人数】

法科大学院在籍者4~5名、次年度進学予定者若干名（予算額500万円）

【応募人数】

法科大学院在籍者8名

【選考方法】

理系出身者への法科大学院奨学金選考要項に従い人材育成選考委員による書類選考（一次選考）を行い、一次選考を通過した応募者5名について、2023年6月11日に面接を実施し、合議による二次選考で採用者を決定した。

【選考結果】

法科大学院在籍者3名採用

【助成総額】

441万円

採用者は下記の通りである。

所属・学年	理系的背景
東京都立大学法科大学院1年生	有機化学（材料）専攻出身、工学博士
神戸大学法科大学院1年生	電子工学専攻出身
日本大学法科大学院（夜間）2年生	高分子化学専攻出身、修士、弁理士

理系出身者への法科大学院奨学金応募状況の推移は次の通りで、応募総数の増減に明らかな傾向は見られない。

	2017年度 第1期	2018年度第 2期	2019年度 第3期	2020年度 第4期	2021年度 第5期	2022年度 第6期	2023年度 第7期
申請総数	10名	3名	15名	7名	8名	13名	8名
採用総数	5名	2名	8名	3名	5名	8名	3名
採用率	50.0%	66.7%	53.3%	42.8%	62.5%	61.5%	37.5%
助成総額	135万円	168万円	291万円	351万円	435万円	450万円	441万円

	2017年度 第1期	2018年度第 2期	2019年度 第3期	2020年度 第4期	2021年度 第5期	2022年度 第6期	2023年度 第7期	合格回数/ 受験回数	合格者数/卒業生数
司法試験受験者数	0	1	2	3	4	10	8	28	-
司法試験合格者数	0	1	2	1	2	7	4	17	-
奨学生合格率	-	100%	100%	33%	50%	70%	50%	61%	81% (卒業生21名中17名)
全国平均合格率	25.86%	29.11%	33.63%	39.16%	41.50%	45.52%	45.34%	-	-

【2023年度の司法試験合格状況】4名合格（うち3名は在学中合格）

東京大学法科大学院3年生（AI、マテリアル工学専攻出身）

早稲田大学法科大学院卒業（看護医療学専攻出身、看護師、保健師）

東京大学法科大学院3年生（森林科学（生態学）専攻出身）

京都大学法科大学院3年生（化学・理論法学専攻出身、修士2件、弁理士）

【ウェブ相談会】

理系出身者を含む法学純粋未修者の学修支援を目的としたウェブ相談会を、弁護士として活躍する2名の奨学生OBを講師として招き、2023年7月22日に実施した。奨学生5名を含む9名の参加があり好評を博した。

2023年8月12日に2回目のウェブ相談会を計画していたが、講師予定者との都合が合わず開催を中止した。

【その他報告事項】

- ・ 2023 年度に原級留置となった奨学生 2 名のうち 1 名は卒業した。1 名は経済的理由で休学したが、2024 年度に復学した（原級留置中）。
- ・ 2024 年度は復学の 1 名を含む 2 名の奨学生が原級留置となった。
- ・ 卒業後 4 ヶ月の奨学金給付継続について、規程の改定を行い、卒業後に司法試験を受験する場合に給付を継続することとした。

B. 困難な状況にある子ども達への学習支援（定款第4条に定める事業(3)）

困難な状況にある子ども達が集う子ども食堂・子どもの居場所に学習支援機能を付与することで、将来の社会及び学術・科学技術の担い手となる人材を育み、社会全体での教育水準の底上げと教育格差の解消に努めることを目的として助成公募を下記の通り実施した。

【公募期間】

2023年10月1日～12月4日

【対象地域】

京都府・大阪府・滋賀県

【公募方法】

当財団ウェブページ掲載、対象地域の行政担当部署・社会福祉協議会等への周知依頼、助成財団センター助成情報ナビへの登録により公募を行った。

【募集件数】

6~8件程度（予算額300万円）

【申請件数】

15件

【選考方法】

困難な状況にある子ども達への学習支援選考要項に従い人材育成選考委員による採点の上、合議制の審査会を2024年1月6日に開催し採択団体を決定した。

【選考結果】

8件採択

【助成総額】

300万円

採択団体は下記の通りである。

団体名	団体種別	所在地	助成金額
Unity	NPO法人	高槻市	45万円
Minamiこども教室	任意団体	大阪市生野区	40万円
不登校支援団体CLASSB	任意団体	大阪市東淀川区	40万円
木の実キッズダイナー	任意団体	東大阪市	40万円
みんなの広場敦賀屋	任意団体	滋賀県大津市	35万円
Kid's Diner 子ども食堂	任意団体	京都市上京区	35万円
ココまな	任意団体	岸和田市	35万円
セカンドテーブル（白百合会）	社会福祉法人	京都市中京区	30万円

困難な状況にある子ども達への学習支援応募状況の推移は次の通りで、2023年度は大阪府からの申請数に減少がみられた。社会状況の厳しさは増しており、本事業の必要性は高いと判断できる。

	2017年度 第1期	2018年度 第2期	2019年度 第3期	2020年度 第4期	2021年度 第5期	2022年度 第6期	2023年度 第7期
申請総数	22	27	16	24	26	29	15
採択総数	6	9	10	8	9	9	8
採択率	27.27%	33.33%	62.50%	33.33%	34.61%	31.03%	53.33%
助成総額	312.3万円	299万7000円	302万2500円	300万円	310万円	300万円	300万円

2023年度は減少が見られたものの申請に占める大阪府からの割合は一貫して大きく、申請内容も切羽詰まったものが多い。大阪府の子ども食堂・子どもの居場所については、現在の助成率維持が重要と考える。

	2017年度 第1期	2018年度 第2期	2019年度 第3期	2020年度 第4期	2021年度 第5期	2022年度 第6期	2023年度 第7期
申請に占める大阪の割合	63.6%	63.0%	56.3%	70.8%	76.9%	75.0%	53.3%
採択に占める大阪の割合	66.7%	44.4%	60.0%	75.0%	66.7%	66.7%	62.5%

【その他報告事項】

- ・ 第6期助成総額300万円の助成のうち、235万4720円が学習支援の人件費として使用された（78.5%）。
- ・ 第6期採択団体のうち3件が、外国にルーツを持つ子ども達の居場所であった。これらの団体からは、本助成により子ども達の自己肯定感が大きく向上したこと、大学生ボランティアの長期的な定着が可能になったこと、これに伴い各居場所の暖かさと明るさが増したこと、それが各家庭へも波及したことの報告があった。
- ・ 第6期採択団体で学習支援を受けた複数の中学生、高校生が、いずれも志望校に合格し進学を果たせたとの報告があった。学習支援を通じて子ども達の自己肯定感が向上し、笑顔が増えたことの報告があった。
- ・ 複数の第6期採択団体から、学習支援にあたった大学生の大きな成長が報告され、学習支援を通じて良い経験を積んでもらうことができた。また、学習支援に参加した大学生による自主的な学習支援サークル立ち上げの報告があった。

2. その他の報告事項

A. 選考委員会

2023年度の研究奨励選考委員会、人材育成選考委員会は下記の通りであった。

研究奨励選考委員

伊村 智（日本分類学会連合、国立極地研究所副所長・教授）

遊磨 正秀（日本生態学会、龍谷大学元教授）

沼田 英治（日本動物学会、京都大学名誉教授・京都大学人と社会の未来
研究院特定教授）

浅見 崇比呂（日本動物学会、信州大学特任教授）

伊藤 元己（日本植物学会、東京大学名誉教授）

中辻 憲夫（代表理事、京都大学名誉教授）

長谷川 博*（理事、東邦大学名誉教授、*委員長）

細川 美穂子（業務執行理事）

オブザーバー

藤本 一郎（理事、創知法律事務所代表弁護士）

人材育成選考委員

堀田 克明（大阪弁護士会、色川法律事務所弁護士）

植木 和彦（大阪弁護士会、泉佐野法律事務所弁護士）

川端 伸也（京都弁護士会、京都みらい法律事務所弁護士、大阪大学法科大学
院元教授）

水町 衣里（大阪大学社会技術共創研究センター准教授）

中辻 憲夫（代表理事、京都大学名誉教授）

藤本 一郎*（理事、創知法律事務所代表弁護士、*委員長）

「理系出身者への法科大学院奨学金」選考担当

細川 美穂子（業務執行理事）

「困難な状況にある子ども達への学習支援」選考担当

山田 礼子（同志社大学社会学部教育文化学科教授）

伊多波 良雄（同志社大学経済学部元教授）

B. 重要な契約

本事業年度は該当無し。

C. その他報告事項

- ・ 2024年1月18日に内閣府による「運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査」が実施され、法人運営・事業実施について改善事項の指摘及び助言を受けた。
- ・ 細川業務執行理事が、公益財団法人公益法人協会が主催するセミナー（定期提出書類作成セミナー、管理者のための立入検査のポイントと対策セミナー）を受講し、法人運営体制の強化と安定化に努めた。

D. 理事会及び評議員会

2023年度は下記の通り実施した。

会議の種類	開催日時	場所	出席者	欠席者	審議事項
理事会	2023年4月3日	zoom	理事4名 監事1名	無し	2023年度事業計画書の承認の件 2023年度収支予算書の承認の件 資金調達及び設備投資の見込みについての書類の承認の件 2023年度研究奨励選考委員及び人材育成選考委員の選任の件 その他の報告事項
定時理事会	2023年5月14日	zoom	理事4名 監事1名	無し	2022年度事業報告の承認の件 2022年度計算書類等の承認の件 理事・監事・評議員選任（重任）の件 定時評議員会招集の件 評議員会運営規則・理事会運営規則・印章管理規程改定の件 旧事務所の会議室使用に関する件 電子申請システム実装に関する件 2022年度監査報告の件 その他の執行状況の報告 公益認定申請代理人費用支払いの報告
理事会	2023年5月25日	書面決議	理事4名 監事1名	無し	会議開催費助成公募5月選考の採択団体決定の件
理事会	2023年6月1日	書面決議	理事4名 監事1名	無し	理系出身者への法科大学院奨学金の一次選考採用者決定の件
臨時理事会	2023年6月4日	対面とzoom併用 (京都市中京区堺町 通竹屋町上る橋町92 番地502号室)	理事4名 監事1名	無し	代表理事及び業務執行理事選定の件
理事会	2023年6月14日	書面決議	理事4名 監事1名	無し	理系出身者への法科大学院奨学金の採用者決定の件
理事会	2023年7月21日	書面決議	理事4名 監事1名	無し	研究費助成公募採択課題決定の件
理事会	2023年9月27日	書面決議	理事4名 監事1名	無し	会議開催費助成公募9月選考の採択団体決定の件

理事会	2024年1月12日	対面とzoom併用 (京都市中京区堺町 通竹屋町上る橋町92 番地502号室)	理事 4 名 監事 1 名	無し	2024年度事業計画について 2024年度収支予算案について 規程類改定の件 困難な状況にある子ども達への学習支援 採択団体決定の件 その他の執行状況の報告
理事会	2024年1月27日	書面決議	理事 4 名 監事 1 名	無し	会議開催費助成公募 1 月選考の採択団体 決定の件
理事会	2024年3月5日	書面決議	理事 4 名 監事 1 名	無し	2024年度事業計画承認の件 2024年度収支予算承認の件 経理規程改定の件
会議の種類	開催日時	場所	出席者	欠席者	審議事項
定時評議員会	2023年6月4日	対面とzoom併用 (京都市中京区堺町 通竹屋町上る橋町92 番地502号室)	評議員 7 名 理事 4 名 監事 1 名	迫田さやか評議員	2022年度計算書類等の承認の件 理事・監事・評議員の選任の件 評議員会運営規則の改訂の件 2022年度事業報告の件 2023年度収支予算・事業計画の報告の件

E. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産状態の推移
別添参照。

F. 事業報告書の附属明細書

2023 年度事業報告書には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書については、事業報告の内容を補足する事項が存在しないことから作成していない。